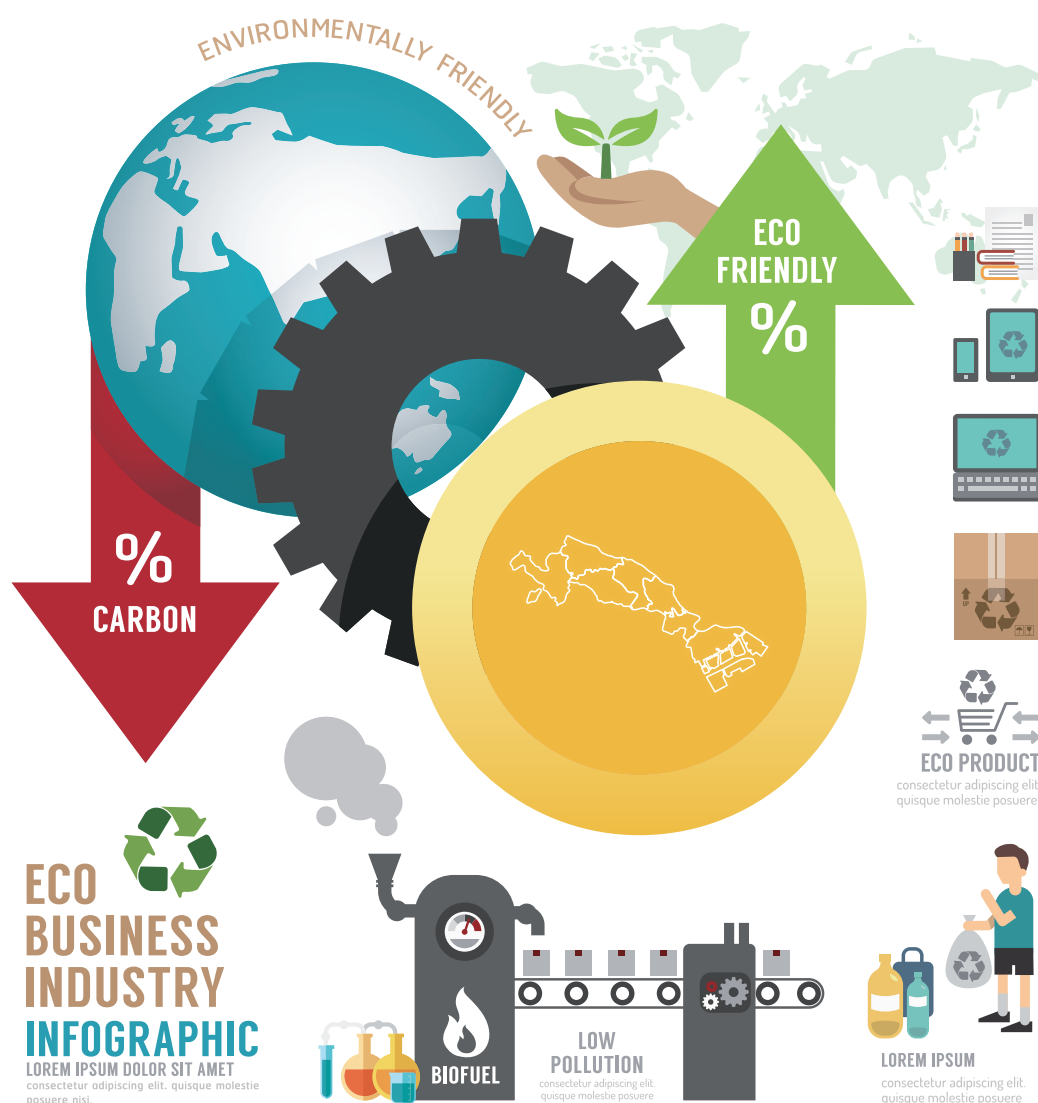


産・学・官 連携事例集

ー企業マッチング事例ー



INSTITUTE OF INDUSTRIAL PROMOTION

公益財団法人
川崎市産業振興財団

令和4年3月

はじめに

公益財団法人川崎市産業振興財団では、平成 17 年 8 月、公的支援施策の活用促進と優れた技術を有するものづくり企業の発展・育成を目的とした「コーディネート支援・出張キャラバン隊」を発足いたしました。以来、大企業や研究機関、大学などが持つ知的財産と中小製造業が持つ技術の融合（産学官連携）を目的として、発足以来、延べ 6,000 件を超える企業への訪問を実施しております。そして実際に経営者や技術者の方々とお会いし、要望に応じて助成金情報の提供、ビジネスパートナーや大学の紹介などを実施して参りました。

そうした訪問活動の中で出合った、産学連携や産産連携を通じた新技術や新製品の開発ですばらしい実績を残す企業を取材させて頂き、このたび連携に至った経緯や取り組み方をまとめた「連携事例集」として発行することとなりました。

新技術・新製品の研究開発について、「興味はあるが、やり方が分からない」「気後れしてしまう」という声も多く聞こえるように、経験のない企業にとっては産学連携や産産連携はハードルが高い課題として敬遠されている節がある一方で、一度でも経験したことがある企業は、以後も新製品・新技術開発の有効な手段として積極的に取り組んでいるようです。

どうすれば産学連携や産産連携が出来るのか、興味はあるが分からない、そんな経営者の皆様にとって、本冊子が参考の一助になれば幸いです。

最後になりましたが、本書の発行にあたり取材にご協力いただいた企業の方々に厚く御礼を申し上げます。

令和 4 年 3 月

公益財団法人 川崎市産業振興財団

目 次

頁

事例紹介（掲載事案 4 件）

1. 宝養生資材 株式会社	4
2. ダンウェイ 株式会社	6
3. 日本理化学工業 株式会社	8
4. マキナエンジニアリング 株式会社	10

支援事業紹介

コーディネート支援活動・出張キャラバン隊 知的財産交流事業（川崎市知的財産戦略推進プログラム重点事業）	14
産学連携 試作開発促進プロジェクト 川崎市産業振興財団の中小企業支援活動	15
川崎市産学共同研究開発プロジェクト助成事業補助金 川崎市新技術・新製品開発等支援事業補助金	16
かわさき起業家オーディション ビジネス・アイデアシーズ市場	17
新分野・新技術支援研究会（略称：NFT） 川崎ものづくりブランド認定事業	18
第 18 回 川崎ものづくりブランド認定製品・技術一覧事業	19

連携事例紹介

宝養生資材 株式会社（川崎市知的財産交流事業）

建設養生材料会社がハンドソープを開発！ 大企業の開放特許を活用した 「天使のメレンゲ」



代表取締役 吉村 政城

知財マッチングとは、知的財産の移転を手段とした企業や団体間のビジネスマッチングである。公益財団法人 川崎市産業振興財団（以下、当財団）は川崎市役所とともに、中小企業に対し大企業の特許技術を活用した自社製品を促す知財マッチング「川崎市知的財産交流事業」を全国に先駆けて取り組んでいる。本稿ではこの「川崎市知的財産交流事業」を最新の成約事例も含めて紹介する。

■ 「川崎市知的財産交流事業」とは

多くの大企業は、保有する知的財産が自社で活用されていないといった、いわゆる休眠特許問題を抱えており、一部の企業はその解決策として、休眠特許を開放特許（大企業がライセンスを前提に一般に開放する特許）として公表している。川崎市役所と当財団では有効に活用されていなかった「もったいない」開放特許を中心に紹介し、自社製品開発や既存製品の改良に役立ててもらふ知財マッチングを「川崎市知的財産交流事業」として平成 19 年度から重点的に実施している。大企業側からのライセンス供与等のマッチングが成功すれば、中小企業側には「0 から開発する時間を省き、不足する技術を速やかに得られる」、「大企業のブランド力を活用できる」といったメリットが発生する。

本事業にご参加いただいているキューピー㈱は休眠特許の有効な活用を検討している中で参加いただくことになった。

建築養生材料の販売や加工を本業とする宝養生資材㈱は、この「知的財産交流事業」により、これまでも開放特許を活用した商品開発に取り組んでいる。

■ 同社初の知的財産交流事業を活用した自社製品が完成

同社は自社特許製品の建築用クリーニング剤である強アルカリ多機能水「アプリテック」の活用法を考えていたところ、知的財産交流事業を通じて富士通㈱の開放特許と出会い、平成 26 年に安全・強力な抗菌力を兼ね備えた天然素材高機能石鹸を開発した。東京大学と富士通㈱が共同開発した、菌やウイルスを吸着・分解する新材料「チタンアパタイト」と「アプリテック」を混ぜ合わせたもので、ラインナップの一つである「川崎力」は、頑固な脂汚れと臭いを除去するなど、男性向けの商品となっている。また、洗浄後の汚れた水はチタンアパタイトの光触媒機能により、自然界に戻された後、水と二酸化炭素に分解されるサステナブルな身体洗浄用石鹸である。



富士通の開放特許を活用して開発した自社製品

「川崎力」（左）「エステルの瞳」（中央）「宝養生せっけん」（右）

■ キューピーの知的財産を活用した新製品の開発

新型コロナウイルス感染症のパンデミックを機に「抗菌」や「抗ウイルス」といった機能に注目が集まっている昨今、キューピー(株)の開放特許である「ノロウイルス不活化剤」を活用し、同社は新たに手洗い用液体石鹸の開発に着手した。

ノロウイルス感染症は重症化率こそ低いですが、少量のウイルスで発症するなど、感染力が非常に強力であり、嘔吐と下痢の症状が激しいため、施設における抗ウイルスニーズは高いと考えられ、飲食店、美容院、医療機関、介護施設、船舶等に向けて業務用のハンドソープの製品化の検討から始まり、開発の際には同社の吉村政城社長・吉村千恵子監査役に加え、財団のコーディネータ・職員、川崎市役所の職員が参加し、香りの選定、洗浄力・泡立ち・泡切れといった性能評価、商品名の案を出し合った。また、開発途中で、「ノロウイルス不活化剤」に含まれる「加熱変性リゾチーム」が新型コロナウイルスの不活化にも効果があることが判明し、コロナ禍における更なる付加価値が生まれた。

主成分が卵白リゾチームであること、メレンゲの言葉が卵白の泡立ちの良さをイメージさせること、天使はキューピー(株)とのコラボを表す等の理由から「天使のメレンゲ」と名付けられ、現在は本製品の事業化を目指しており、「生活衛生の向上を願って開発した。キューピー(株)の製品のように、長く愛され、長く使われる製品に育ってほしい。」と吉村政城社長は語る。

同社は健康の養生のためにも、人々の生活に密着した製品の開発を通じて貢献していく。



キューピーの開放特許を活用して開発した「天使のメレンゲ」

会社概要

企業名：宝養生資材 株式会社

創業：1975年（昭和50年）10月

所在地：川崎市宮前区菅生2-19-17

電話：044-976-0666

代表者：吉村 政城（ヨシムラ マサキ）

資本金：1,000万円

事業内容：建築養生材料の販売及び加工業各種粘着テープの販売及び加工

URL：<http://www.takara-youjyou.com/>

ダンウェイ 株式会社（産産マッチング）

キャリアサポートカルテ
シームレス バディ®の新しい可能性
～外国人人材への活用～



代表取締役 高橋 陽子

JR 南武線の武蔵新城駅南口に地元住民で賑わう商店街がある。多くの人が行き交い、活気に溢れている。その一角にダンウェイ株式会社は、事務所を構えている。2階建ての建物からは、いつも明るく元気な声が聞こえてくる。インストラクターが、様々な訓練カリキュラムを通じて、障害者の企業への就職を目指している。ダンウェイ株式会社は、神奈川県川崎市・横浜市・東京都などの地域において、主に障害児・障害者の人材育成を通じた労働生産性を追求し、社会への自立(障害者雇用)を目指す障害者就労支援の会社である。

■ 高橋社長の強い想いと今までの経験からの起業

代表取締役である高橋陽子社長は、自身に知的障害の子供を持ち、子供との生活を通じて、日本の障害者支援の課題の大きさを痛感。その現状を変えるべく、自ら障害者の自立・就労支援を行うために、2011年にダンウェイ株式会社を設立。それまでの総務・人事や特定社会保険労務士等のスキルを活かし、一人一人の性格や能力に合った訓練カリキュラムを行っている。ものごとの理解には大きく分けて2つある。一つは、読み書きとしての理解、いわゆる言語理解。もう一つは、概念理解である。事象を言葉だけでなく、背景など含めて、立体的に把握することで作業や動作の精度が高まる。同社は、概念理解と情報保障に注目した訓練カリキュラムを作成し、ITツールを駆使することで一人一人に合った支援を実現。それが評判を呼び、第77回かわさき起業家オーディション起業家大賞受賞・第1回浜銀総研ウーマンビジネスアワード特別賞受賞・全国商工会議所女性起業家大賞受賞など様々な賞を受賞し、全国から注目が集まっている。

■ キャリアサポートカルテ：シームレス バディ®を開発

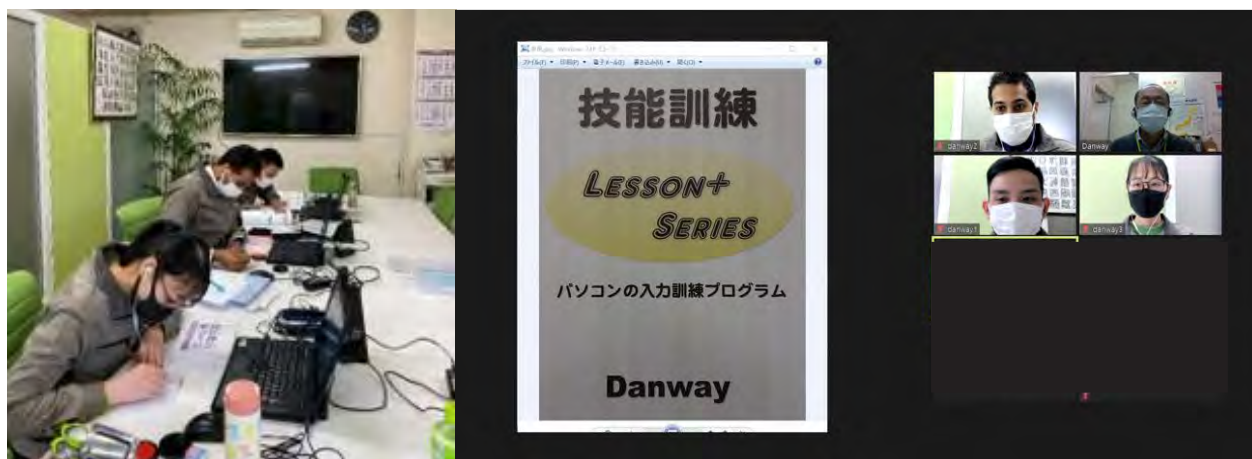
同社は、創業以来、障害のある方々の成長記録を長年にかけて蓄積し、その記録をデータベース化。それを基に、複数の評価項目から人材アセスメントが図れるサポートツールとして、電子カルテ【シームレスバディ®】を開発。障害のある方々に対して、概念理解、情報保障、自己・他者・相互理解に始まり生活面、就労面を評価する基本評価と、パソコンスキルや軽作業に必要な職能評価項目等を通じて、能力の可視化が図ることができ、客観的な視点からアセスメントを図れるツールとなっている。これにより、各人材に合った仕事や仕事の伝達の仕方が明確となり、入社後のミスマッチングを防ぎ、生産性向上に繋がっている。



キャリアサポートカルテ：シームレスバディ

■ シームレスバディの外国人人材への活用

シームレスバディの新しい可能性として、外国人人材への活用がある。川崎市中原区にある株式会社東京エンジニアリングは、制御盤・分電盤の製造・販売を行う会社で、約30年前から積極的に、アジア圏を中心とした外国人人材の採用を行っている。同社の貝田充社長は、ダンウェイ社のシームレスバディの概念理解や能力の可視化が、外国人人材の採用や育成にも適用できると感じ、導入を決意。異分野への導入ではあったが、結果として、貝田社長が想定していた通り、外国人人材の能力の可視化に繋がった。シームレスバディの概念理解の測定が、外国人人材にも適用することができた。シームレスバディの導入後は、人材にあった職務への配置や概念の理解度に即した業務指示を行うことができ、円滑なコミュニケーションが図れ、ミスマッチング防止や生産性向上に繋がっている。これを契機として、現在、シームレスバディは、海外展開を視野に入れている。多様性や多文化共生といわれる昨今、相互理解が不可欠であり、シームレスバディは、その架け橋として、国内のみならず海外でも利用され始めている。「一人一人の『人』と向き合い、心からのお付き合いができることを目指します。」と高橋社長の強い思いが今、日本のみならず、海を越えて様々な人に届き始めている。



シームレスバディの外国人人材への活用

会 社 概 要

企 業 名：ダンウェイ 株式会社

創 業：2011年(平成23年)1月

所 在 地：川崎市中原区新城1-12-15 アムールスクエア新城

電 話：044-740-8837

代 表 者：高橋 陽子(タカハシ ヨウコ)

資 本 金：2,100万円

事 業 内 容：障害者就労支援事業（就労移行支援、就労定着支援、就労継続支援B型、自立訓練）・障害者雇用支援事業・障害者雇用事業・障害者就労支援・雇用指導者育成事業・障害児支援事業（放課後等デイサービス）

U R L：<https://www.danway.co.jp/>（会社案内）

<https://www.danway.co.jp/karte/index.html>（シームレスバディ）

日本理化学工業 株式会社

産学連携によるホワイトボード用 キットパス改良の取り組み



代表取締役社長 大山 隆久

日本理化学工業はチョークや、キットパスという顔料とワックスで作ったクレヨンのような筆記具などを製造販売する企業である。また、障がい者雇用にも積極的であることで有名である。同社より弊財団に、キットパスのうちホワイトボード用のものについて課題があり、解決したいとの相談があった。

■ ホワイトボード用キットパスの課題

ホワイトボード用のキットパスは、従来のホワイトボード用マーカーに替わって使用されることを想定した商品である。キャップがなくても乾かない、溶剤のにおいがしないなどのメリットがあるが、ワックスがメインの材料のためマーカーよりホワイトボードへの定着性が良く、消す際にマーカーに比べ力を要するという問題点があった。水溶性のため水で湿らせた布を用いれば消しやすいが、湿らせた布は時間が経つと臭う等の課題があった。そのため、何か消しやすくする方法はないかとの相談であった。

■ 東京高専とのマッチング

そこで、まずは現状把握のため、キットパスがホワイトボードにどのような状態で付着しているのかを確認するのが良いと思われた。検査機関を探す中で、おおた研究開発フェアに出展されていた東京工業高等専門学校の産業技術センターの担当者にコンタクトを取ったところ、観察いただける可能性があるとのことであった。東京工業高等専門学校は八王子市にある国立の高専であり、また、同センターは、高度な技術開発や研究において必要な研究設備を有しており、それら設備を活用した地域社会（産業界）との産学連携を積極的に推進している。今回、電子顕微鏡による観測を行い、キットパスの付着状況は見る事ができた。しかし残念ながら、そこから決定的な解決策は見いだせなかった。

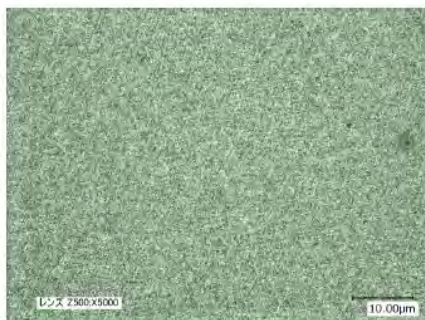
その後、別のイベントで、東京高専にて社会実装教育という、企業等の課題に対し、高専の学生が数人のチームとなり、教員の指導の下、解決を図ろうとするもので、授業の一環となっているものがあることを伺った。本教育は半年程度の単位で行い、費用は原則、無料である。共同研究等と異なり必ずしも課題が解決される可能性は高くないが、若い学生の柔軟な発想を期待でき、今後の何かにつながる可能性が期待されたため、早速日本理化学工業の担当者に話し、実施することとなった。

■ 社会実装教育の実施

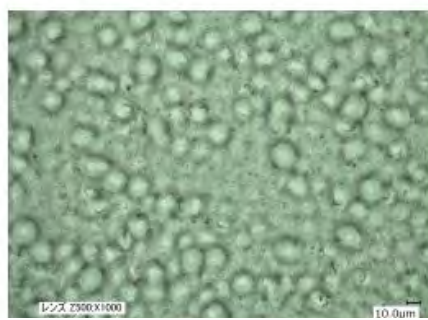
まず、初回は4年生の女子学生4名が担当した。同教育開始から2か月程度で様々な検討を実施していた。例えば、ふき取る布を色々変えてみたが、現在標準的に使用しているマイクロファイバーより落ちるものはなかったこと、イレーサーにヒーターを付けて加熱してみたが、キットパスは溶解するが全体に伸びてしまってあまり効果はなかったことなどが報告された。さらに、ふき取りに専用洗浄液を使うことを検討し、アロマオイルを使用したところ、良く拭くことができ、揮発性のため後にも残らず、良い結果となった。成分のうち、リモネンに効果があるようである。リモネンに殺菌効果が期待できるため、拭き取る布にしみ込ませる水に混ぜて使用すれば、布が臭くなることを防げる可能性も期待できる。という報告もあった。特に、アロマオイルを使うなど、女性ならではの斬新な視点と思われた。また、イレーサーにヒーターを付けるなど、工学的な対応をすぐにできる点も高専らしさが見られた。特に、アロマオイル

を使って部屋が良い香りになるなどあれば、消すという行為に付加価値を付けられるため、新たな展開も期待できると思われた。しかしながら実際の製品化においては、ヒーターはコスト面での問題、揮発性のオイルには毒性等への懸念が否定できないため、実用は難しいことが分かった。そのほかにもホワイトボードの検討も実施した。表面にテフロン加工をしたところ、消し心地はよくなるがきれいにはならなかった。その次の年度はホワイトボードのコーティングの工夫を試みた。ニスや塩化ビニールのシートなどを用いて比較し、表面を光学顕微鏡で観察したところ、表面の凹凸形状によって変化があることが分かり、できるだけ凹凸が少なく、また、凹凸の浅いものが良いことが分かった。

以上、現時点で決定的な解が見つかったわけではない。ただ、こういった課題については少しずつ継続的にアプローチしていくことで、何か別の事業への参考となるアイデアが見つかる場合もあるものと思われる。本件については原則、研究費等は不要であり、学生の若く新鮮なアイデアを得ることができるため企業側へのメリットがあり、一方学校側も学生が実際の社会の課題に触れることができる等のメリットがある。そのため、中小企業等が産学連携の第一歩として行うには適したプログラムであると思われる。



油性ニスを塗ったホワイトボード
表面の光学顕微鏡写真
(今回検討した中で一番消しやすい)



艶消しニスを塗ったホワイトボード
表面の光学顕微鏡写真 (今回検討した
中で一番消しにくい)



シリコンラバーヒーターを取り付けたクリーナー



ホワイトボード用キットパス

会社概要

企 業 名：日本理化学工業 株式会社
創 業：昭和12年2月13日
所 在 地：川崎市高津区久地2丁目15番10号
電 話：044-811-4121
代 表 者：大山 隆久 (オオヤマ タカヒサ)
資 本 金：2,000 万円
事 業 内 容：ダストレス事業部-文具、事務用品製造販売
ジョイント事業部-プラスチック成形加工
U R L：<https://www.rikagaku.co.jp/>

株式会社 マキナエンジニアリング

医工連携による医療機関向け

セキュリティキャビネットの開発



代表取締役社長 浦尾 貢

株式会社マキナエンジニアリングは 1982 年に創業し、各種メカトロニクス製品の開発・製造（主に受託開発）でお客様のニーズに応じてきた企業です。同社は金融・流通市場向けの製品開発・製造からスタートし、医療市場向け製品、ゲーミング市場向け製品、セキュリティ製品、各種 FA 製品などを様々な分野に向けて製品提供を行ってきた。特徴的な例としては「硬貨収納出金装置」や、「RFID 読取装置（ゲート）」、「尿自動分析装置」等の開発実績がある。これらの搬送関連の製品開発ノウハウと経験を活かした、お客様個々のニーズ（品質・納期・価格）にこたえる技術力・製造力を最大の強みとしている。

■ 医療機関向けキャビネットの開発

株式会社マキナエンジニアリングで代表取締役を務める浦尾社長は、2016 年に発生した点滴への消毒薬注入事件を切っ掛けに、適切な薬剤管理と業務過多となっている医療現場の業務効率化に必要性を感じた。そして、同社の技術を活用して医療従事者・患者双方にメリットのある製品開発ができると考え開発に取り組むこととなった。

まず最初のステップとして現場の実態を把握するために当財団や取引先に対して医療の現場を知る機会が作れないか相談をした。そこで当財団からは都立病院に所属する看護師を紹介し薬剤の運搬・管理、安全管理とセキュリティ状況に関する聞き取りを実施した。



セキュリティキャビネット

同様に、同社の取引先からも大学病院の紹介を受け現場の状況や困りごとについて情報収集し、自社技術を基にした製品企画を検討した。そして、危険物、重要物などの保管に「安全と面倒な管理の省力化」を実現する管理BOX【セキュリティキャビネット】の開発を進めるに至った。これは静脈認証システムと、保管庫内の重さ測定により、「いつ」「誰が」「どのくらいの量」を取り出したか一括管理できるため、薬剤の厳格な管理と業務の効率化を可能にするもので、医療の安全や医療従事者の負担軽減に貢献することを目指している。

■ 製品開発に向けた医療機関との連携

開発に当たっては病院等の協力を得て医療現場の実態について把握を進めてきた。例えば、点滴薬の発注から投与までには仕分けや運搬等、多数の作業が発生し看護師の負担となっている点など、効率化できる可能性のある作業や、必要なセキュリティについて具体的な情報収集を行った。これらのヒアリングをもとに、製品企画案を作成し、意見交換を繰り返した。そして今回、試作機が完成し、川崎市の医工連携事業を活用し、大学病院で実証調査を開始した。実証調査では、看護部及び薬剤部にセキュリティキャビネットを納入し3週間程度実際に使用してもらうことによる効果検証を行った。検証結果については事前のアンケート表を活用したヒアリングによる意見交換を行い、認証機能の改善点や、病院規模・部署毎の取扱いに沿った使用方法、薬剤の種類など試作機の具体的な改善点や導入に必要な機能など幅広い助言を頂く事ができた。これらの助言を基に更なる改良を検討し、最適な製品開発を進めている。このように医療機関と連携して製品開発を行えることは医療分野への進出においては大きな強みであり、今後の開発に大変寄与するものであった。



静脈認証の様子

■ 今後の展望

同社はこれまで主力であった金融分野での事業展開は勿論であるが、新たな市場として医療分野に注力をしていく方針である。浦尾社長は「セキュリティキャビネットの開発は勿論、医療分野のニーズには地道な取り組みが必要なものが多々あります。ニーズに応える装置の開発をどんどんしていきたい」と語る。

今回の重量測定機能付きのセキュリティキャビネット開発を進める中で、重量測定機能付きロッカーの開発・製造を受注するなど他分野への展開にもつながっている。今後も独創性と高い信頼性を基に、変化の速い社会の様々な分野で貢献できる製品開発を続けていく。

会社概要

企業名：株式会社 マキナエンジニアリング

創業：1982年（昭和57年）6月

所在地：川崎市高津区宇奈根666-7

電話：044-844-7337

代表取締役：浦尾 貢（ウラオ ミツギ）

資本金：5,000万円

事業内容：設計・開発（メカ／エレキ／ファーム）・製造（組立／試験／評価）
・修理・サービス

URL：<http://www.maquina-eng.info/>

支援事業紹介

コーディネート支援活動・出張キャラバン隊

中小企業の新製品・新技術開発や大学等との共同研究などの新たな事業展開に対して、広範かつ専門的な知見を有する民間専門家等のコーディネータおよび各支援機関のスタッフ等が直接企業を訪問し、新規事業展開に活用できる各種施策の情報提供や、企業・大学・研究機関等の連携先紹介、課題解決等を目的に出張型のワンストップサービスを実施しています。

また、企業訪問活動を通じて出会った国内・世界のトップシェアを誇る製品、オンリーワンの技術、匠の技、生まれたてのアイデアなどについては、神奈川新聞社・日刊工業新聞社などのマスメディアへの情報提供を行なうことで、企業や製品のPRのお手伝いを行なっております。

【新産業振興課 連携推進係／044 - 548 - 4152】

財団コーディネータが各種施策活用まで継続的に手引・支援
年間500社ペースで前向きな企業様へ訪問し、強みを深く理解



知的財産交流事業 (川崎市知的財産戦略推進プログラム重点事業)

大企業や研究機関等が保有する開放特許等の知的財産を中小企業に紹介し、マッチングから製品開発、販路開拓に至るまでの総合的な事業化支援を行います。

【新産業振興課 連携推進係／044 - 548 - 4164】

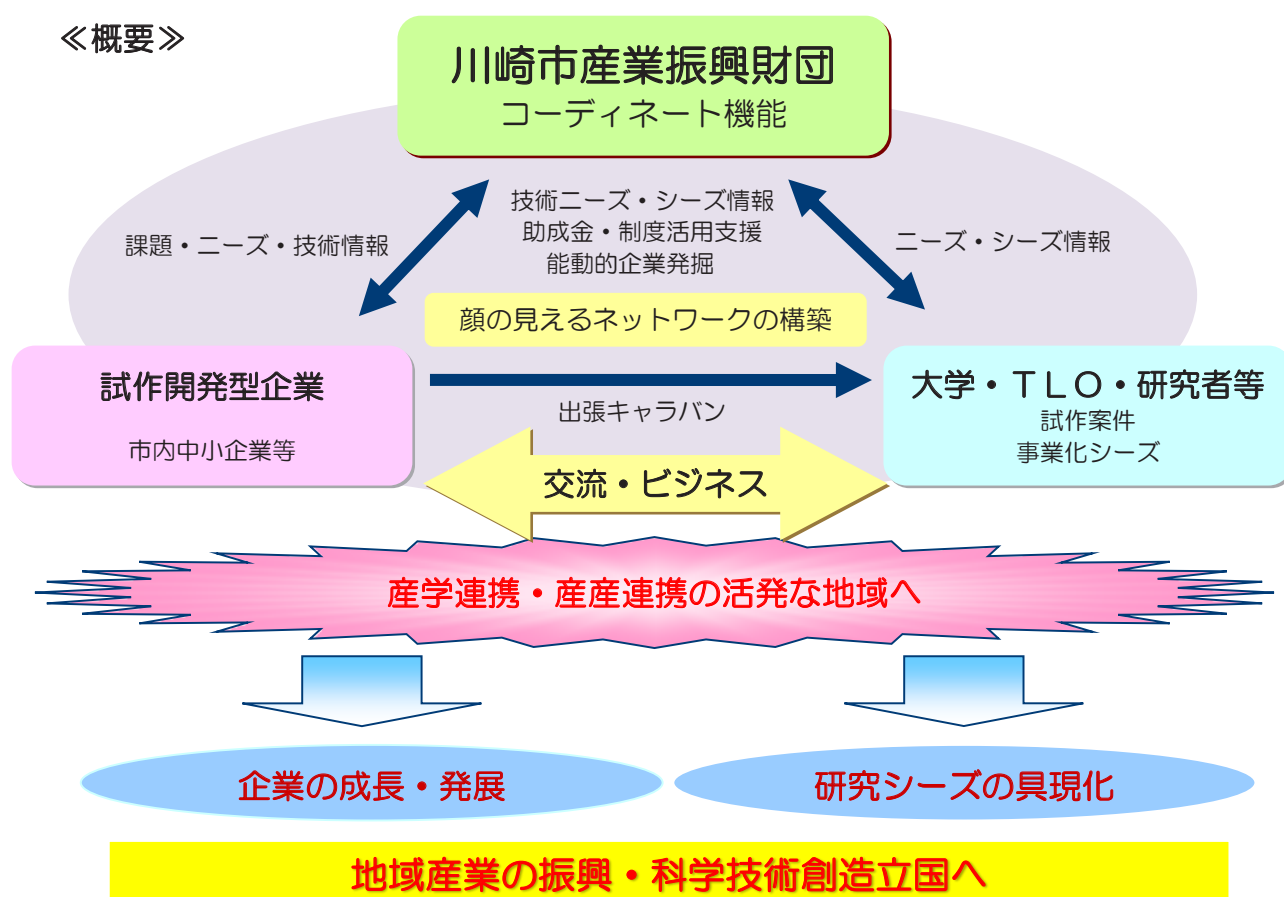


産学連携 試作開発促進プロジェクト

川崎市域に集積する中小製造業の重層的な技術基盤が大学の研究開発のスピードアップ、精度向上につながるという視点から、「大学から企業への技術移転」という一般的な産学連携だけでなく、「企業から大学への試作支援」といったシーズ研究段階における連携促進に向けたアプローチを行い、大学等の研究機器等に係る試作支援を通じて相互の信頼関係を築きながら、中小企業の技術力の向上、産学共同研究開発の促進など、「ものづくり都市・川崎」ならではの新たな産学連携を目指します。

【新産業振興課 新事業支援係／044 - 548 - 4165】

《概要》



川崎市産業振興財団の中小企業支援活動

公益財団法人川崎市産業振興財団（中小企業サポートセンター）は、中小企業を応援する総合支援機関です。経営革新、新事業進出、新規創業、産学連携など、様々な課題についてサポートします。

■窓口相談等事業

【中小企業サポートセンター／044 - 548 - 4143】

企業が直面する経営、税務、技術、特許等の様々な課題に対し、各分野の登録専門家が無料で適切な助言を行います。

■専門家派遣事業

【中小企業サポートセンター／044 - 548 - 4159】

有料で登録専門家を一定日数企業に派遣し、企業診断と課題解決のために必要な助言を行います。

■ワンデイ・コンサルティング

【中小企業サポートセンター／044 - 548 - 4159】

比較的小規模もしくは緊急性を要する経営課題を有する企業や個人事業主等を対象に、適切な登録専門家を原則1日単位で、即応かつ無料で派遣します。

かわさき起業家オーディション ビジネス・アイデアシーズ市場

全国から新規開業や新分野進出につながるビジネスプランを募集してオーディションを行っております。起業への登龍門ともなっており、優れたアイデアにはビジネスパートナーとの面談の場の提供や融資の利用等、アイデアを実現するためのサポートを行っております。

【かわさき起業家オーディション事務局／044 - 548 - 4163】

★ 受賞者一覧（第 127 回～第 130 回）

第 127 回 令和 3 年 7 月 16 日	
株式会社コールドクター	最短 30 分で自宅での診察が受けられる「夜間休日の往診サービス」
情報整備局	消防団専用防災アシストアプリ「S.A.F.E.（セーフ）」
プロジェクト ギガモスラ	臨海コンビナートのリユースによるカイコ 10 億頭生産
メディサイエンス・エスポア株式会社	米国物質特許の新物質「WOX®」での製品開発と用途特許取得
第 128 回 令和 3 年 9 月 24 日	
株式会社染め Q テクノロジー	染め Q テクノロジー抗菌ソリューション
バイオインサイト株式会社	植物種メタゲノム解析による植生調査法と生物多様性の可視化
株式会社 Essen	広告効果を AI で可視化できる車両屋外広告「WithDrive」
第 129 回 令和 3 年 12 月 10 日	
株式会社バスケプラス	データスポーツの新たな分野への挑戦
株式会社アグリトリオ	「一生懸命やってみよう！」を応援する農業プラットフォーム
株式会社ワンズデیلیー	ヒトとワンコがシェアできるフードで支えるペット共生社会
日崎工業株式会社	再エネ供給移動空間「オフグリッドモビリティスペース」
第 130 回 令和 4 年 3 月 11 日	
バリューソリューション株式会社	保守業務における働き方改革と導入コスト負担低減モデルの推進
株式会社 SOXAI	究極のヘルスケアウェアラブルデバイス「SOXAI Ring」
FKS 株式会社	耐震性排水管自在継手「LSJ」
株式会社 Creator's NEXT	自動運転車のための AI 特許を活用したセキュリティー事業

* 第 126 回以前の受賞者一覧およびオーディションの詳細等は下記の HP でご確認ください。
<https://www.kawasaki-net.ne.jp/bizidea/>

新分野・新技術支援研究会（NFT）

新分野・新技術支援研究会（略称：NFT）では、主に市内企業（約 50 社）を会員に、企業における新製品、新事業開発への基盤づくりを目指し専門研究会を設置し・定期的に開催しています。その他、会員同士の他、一般企業や研究機関等との技術・情報の交流を推進するとともに、技術・研究開発に関する各種セミナー等も実施しています。また、会員企業の技術・経営面での具体的な課題解決を図るため、専門家を派遣する他、公的施策活用への支援なども行います。【事業推進課／044 - 548 - 4119】

※令和 4 年 3 月時点の研究テーマです。

研究会名	活動テーマ
市場創造戦略研究会	経営基盤の強化や技術力・開発力の向上、販路拡大を目指すことを目的に、経営活動のあり方や最新の技術動向について多角的に研究します。また、川崎市内にとどまらず地域を越えた交流を促進し、広域企業間ネットワークの構築を目指します。
アクションリサーチ研究会	アクションリサーチは、小集団による活動により課題を解明し、得られた知見から全体の改善へと繋げる実践的な研究です。本プロジェクトでは、神奈川大学経営学部の学生の皆さんと企業を訪問し、社員の方とともに、実際の作業を通じて現場の課題を掘り起こし、改善の端緒とします。
初心者の為の AI（機械学習）研究会	パソコンは少し触れるが、AI が全く解らない方を対象に AI（機械学習）について学ぶことが出来ます。講師自身が、約 20 年前機械学習の元と言われている、ビデオカメラの顔検出機能～笑顔で撮影～美肌機能などの開発を行った時、後から参加した開発者に説明した経験があり、概念、基礎理論、AI の事例から、実際に Google TensorFlow を体験いただくものとなっています。
人生 100 年研究会	コロナ禍の日本は大きく変わろうとしています。そのような中で、シニア世代はもっと自由にセカンドキャリアを生きてもいいのではないかと右肩上がりの時代の「六十歳近くまで働いて、年金をもらって」という生き方だけでは人生 100 年は長すぎるのです。 当研究会では、新しいシニアの生き方を考え、川崎市にプラチナシニアを育てるプラットフォームを作れないかを模索していきます。

川崎ものづくりブランド認定事業

川崎市、川崎商工会議所などで組織する「川崎ものづくりブランド推進協議会」（会長 草壁悟朗〔川崎商工会議所会頭〕）では、川崎市内の中小製造業者等が生み出した優れた製品・技術を広く国内外にアピールし、製品の販路拡大、製品・技術のイメージアップ、新市場への進出などを支援することを目的として、平成16年度より川崎ものづくりブランドの認定事業を実施しています。

第18回目となる令和 3 年度においては、5 件の製品・技術（次頁以降参照）を新たに認定しました。今回の 5 件を加え、現在、105 件の製品・技術が認定されています。



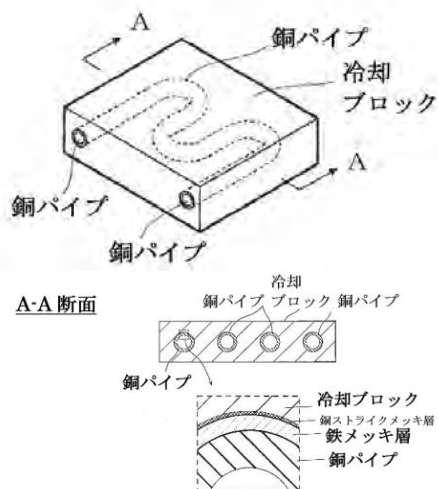
【川崎市 経済労働局 産業振興部 工業振興課／044 - 200 - 2324】

【川崎商工会議所 企画広報部／044 - 211 - 4112】

第 18 回 川崎ものづくりブランド認定製品・技術 一覧

(会社名五十音順)

1 熱交換器「コールドプレート」



【会社名】

株式会社サンテック

〒211-0051 中原区宮内 2-28-2

【製品・技術の概要】

アルミニウムからできている冷却ブロックに銅パイプを埋設した熱交換器において、銅パイプの周りに鉄メッキを施すことで、アルミニウムで鋳込む際の銅パイプの溶解、変形を防止し、銅パイプと冷却ブロックの密着性を向上させている。

また、熱交換性の高い銅材はコストが高いため、通常はステンレスパイプを埋設したものが多いが、本製品は熱交換性を高めつつ、コストの低減を可能としている。

今後も、通信の分野における機器関連部品としての活用が見込まれる。

2 レコメンドシステム「Ten Voice」



【会社名】

株式会社ゼンク

〒212-0015 幸区柳町 1 伸幸ビル 5F

【製品・技術の概要】

NTT の開放特許に同社オリジナルの改良を加えたレコメンドシステムである。過去のサービス利用者の履歴を用いて、家族や友人といった属性ごとのモデルを作成することで、サービス初心者の顧客に対しても精度の高いレコメンドが可能となる。

また、店舗ごとの商品や顧客層等に合わせたチューニングが可能で、高い品質のレコメンドシステムを低価格で提供できる。

今後、飲食や小売の分野を中心に、人材紹介等における活用も見込まれる。

3 高機能再生プラスチック「ダイプラストウッド」



【会社名】

第一パイプ工業株式会社

〒210-0865 川崎区千鳥町 9-4

【製品・技術の概要】

電線被覆材等のプラスチック廃材を選別・粉碎加工し、熱で溶融後、金型に注入して、冷却し、再生プラスチックを製造している。独自の原料技術と成形技術により、従来の再生プラスチックのイメージを変える強度と耐久性（「折れない」「割れない」「腐らない」「錆びない」）を実現している。

鉄道、自動車、建設等の産業用部材としての需要があることに加えて、サッカーゴール転倒防止用ウエイト（重り）など幅広く活用されている。

4 遠隔自動復旧装置「NON フリーズ」



【会社名】

バリューソリューション株式会社

〒210-0006 川崎区砂子 1-7-5 タカシゲビル 6F

【製品・技術の概要】

広がる IoT の世界に潜む電子機器のフリーズ問題の解消に向けて、電子機器（情報通信機器）の異常を検知すると電源の再起動を行い、フリーズ（システム停止）状態から正常に復旧させる。

この一連動作をすべて自動で行う製品である。

今後、国内需要に加え、海外における活用も見込まれる。

5 音源可視化装置「SoundViewer」



【会社名】

株式会社マイクロネット

〒210-0001 川崎区本町 2-8-14

【製品・技術の概要】

32 個のマイクを独自レイアウトで配置し、中心にカメラ、背面に制御基板を設置し、専用ソフトを使用することで、探査したい音（異音）の発生方向に向けて録音・撮影することで各時間における周波数成分や音圧レベルを表示する。

また、撮影画像に解析結果をマッピングすることで、視覚的に異音の位置を表示することが可能である。

今後、自動車、OA機器、重機械、住宅建築等多方面での活用が見込まれる。

産・学・官 連携事例集
企業マッチング事例

編集・発行
公益財団法人 川崎市産業振興財団 事業推進課

〒212 - 0013
川崎市幸区堀川町 66 番地 20 川崎市産業振興会館 6 階
電話 044 - 548 - 4115

令和 4 年 3 月発行
(無断転載・複写を禁じる)